

カリキュラムマップ（国際英語：教職関係）

教職(国際英語担当)カリキュラム							カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを達成するために ◎ 特に重要な項目 ○ 重要な項目 △ 履修することが望ましい項目				
授業科目名	授業科目のねらい	授業科目の到達目標	単位数 (○印は必修)	配当年次	開講区分	レベル (低1～4高)	アクティブラーニング※の実施について (具体的にお書きください)	知識・理解 (基礎力)	汎用的技能 (思考力・実践力)	態度・志向性 (思考力・実践力)	統合的な学習経験と創造的思考力(実践力)
英語科教育法I	国際語としての英語を学ぶこと、教えることの意義を考察し、効果的な教授法のあり方を探る。英語科教育法のテキスト、学習指導要領、言語学習・外国語学習に関する参考文献などを基に英語教育についての基礎知識を身につける。英語教員として必要とされる学力の向上を図り、模擬授業を通して、授業の実践を体験する。	英語教育の基礎基本を学び、英語教員として必要な知識、学力、教養を身につける。学習指導案を作成し、模擬授業を実施できる力をつける。場合に応じて、個人、ペアまたはグループでプレゼンテーションをする力を身につける。	2	2	前期	1	ペア・グループワーク、学生による模擬授業、ピア評価の実施。	◎	△	◎	○
英語科教育法II	英語の授業の実践に向け、具体的に指導案を立案し、模擬授業を行う。英語科教育法のテキスト、学習指導要領、言語学習・外国語学習に関する参考書を基に英語教育についての知識を深める。英語教員として必要とされる学力の向上を図る。	英語教育の基礎基本を学び、英語教員として必要な知識、学力、教養を身につける。学習指導案を作成し、模擬授業を実施できる力をつける。場合に応じて、個人、ペアまたはグループでプレゼンテーションをする力を身につける。	2	2	後期	2	ペア・グループワーク、学生による模擬授業、ピア評価の実施。	◎	△	◎	○
英語科教育法III	教育実習に向けて、実際の実習の場で必要となる知識や技術を身につけると共に、よりよい授業を作っていくための実践的活動を行う。英語指導のための教材を作成し、模擬授業を通して英語の授業の計画・実施・評価を行い実践的な英語指導力を養う。	教育実習に必要な知識とスキルを身に付け、実習において最大限の効果を生むための準備を行うことを目標とする。この授業を通して、(1)教材研究の方法および学習指導案の書き方を身につける、(2)英語の各技能を高める工夫を、教師と生徒の両方の立場から考える、(3)授業の実例を研究し、良い授業を作る。	2	3	前期	3	ペア・グループワーク、学生による模擬授業、ピア評価の実施。	◎	△	◎	○
英語科教育法IV	4年次での教育実習に向けて、実際に必要となる知識や技術を身につけると共に、現実の教室でよりよい授業を作っていくための実践的活動を行う。受講生による模擬授業とフィードバックを中心とする。	教育実習に必要な知識とスキルを身に付け、実習において最大限の効果を生むための準備を行うことを目標とする。具体的には、英語指導のための教材を作成し、模擬授業を通して英語授業の計画・実施・評価を行い、実践的な英語指導力を養う。	2	3	後期	4	ペア・グループワーク、学生による模擬授業、ピア評価の実施。	◎	△	◎	○
教育方法論・総合的な学習の時間の指導法	学校で行われるさまざまな教育の背後にある教育学的知見、心理学的知見、法的規定から、そこに存在する教育方法と技術を知り、これを教員の立場から理解できるようにする。	1. 現行の教育課程がどのような学力の育成をめざしているかが理解できる。2. さまざまな教育方法、教育技術、情報機器活用の基礎的な知識、技能を身につける。3. 「総合的な学習の時間」の目標、学習活動、評価の基礎的な知識、技能を身につける。	2	2	前・後期	2	毎回の講義形式の授業の後、学校教育についてのケースソッドを配布し、記入回収する。次時の授業で、学生の意見、考え方を紹介し、考え方の是非や対立、その背景を詳細を解説する。	○	◎	◎	◎